

平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンオータス
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日

(氏名) 北野 俊
 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	17,428	4.2	77	—	88	—	52	—
24年4月期第2四半期	16,723	10.4	△24	—	△27	—	△68	—

(注) 包括利益 25年4月期第2四半期 50百万円 (—%) 24年4月期第2四半期 △74百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	16.62	—
24年4月期第2四半期	△21.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年4月期第2四半期	13,766	—	3,583	—	26.0
24年4月期	14,175	—	3,563	—	25.1

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 3,581百万円 24年4月期 3,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	0.6	350	116.2	300	68.5	180	283.5	56.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年4月期2Q	3,230,500 株	24年4月期	3,230,500 株
② 期末自己株式数	25年4月期2Q	49,370 株	24年4月期	49,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年4月期2Q	3,181,130 株	24年4月期2Q	3,181,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている連結業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の連結業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想の前提となる条件及び連結業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書 及び 四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかな回復が見られるものの、欧州財政危機の長期化による不安と中国をはじめとするアジア経済の成長鈍化から、世界景気に減速感が広がっております。こうした海外経済の状況が金融資本市場を通じた影響も含め、消費者の購買意欲を後退させるリスクが高まり、また、長期的な円高やデフレの影響も懸念され、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループおきましては「ニュー・トータルカーサービス」の提供を通じて「顧客満足度の向上」に傾注し、集客力の強化によるビジネスチャンスの拡大を図るとともに、常にコストを意識した営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は17,428百万円（前年同四半期比705百万円増収、4.2%増加）、営業利益は77百万円（前年同四半期は24百万円の営業損失）、経常利益は88百万円（前年同四半期は27百万円の経常損失）を計上し、利益面は前年同四半期から大幅に改善しております。法人税等負担後の四半期純利益は52百万円（前年同四半期は68百万円の四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

ガソリンを中心とした燃料油やカーケア商品の販売事業及び車検・整備事業を運営するライフエネルギー事業部門の売上高は8,289百万円（前年同四半期比957百万円増収）、セグメント損失は36百万円（前年同四半期比48百万円増益）となりました。

SS（サービス・ステーション）では、エネルギー全般の節約志向の高まりや低燃費車の普及により燃料油の販売数量は減少しましたが、タイヤ・車検整備・洗車・コーティング等のカーケア商品に重点を置き、お客様のニーズにお応えするサービスの提供に努めました。一方、直販部門では大口需要家向け燃料油の増強、環境対策として手掛けている自動車エンジン清浄機器の販売数量の増加により、ライフエネルギー部門の売上高は前年同四半期を上回りました。しかしながら利益面においては、SS間の価格競争は熾烈で、適正なマージンの確保ができなかったことと、スクラップ・アンド・ビルド（不採算店の閉鎖ならびに新規出店）による販売費及び一般管理費の負担増があり、セグメント損失を計上することになりました。

レンタカー事業、保険代理店及び中古車売買・斡旋事業を運営するカーライフサポート事業部門の売上は678百万円（前年同四半期比37百万円減収）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比9百万減益）となりました。

当事業の中核であるレンタカー部門では、法人契約の獲得強化と個人顧客に対する短時間利用など、多様なメニューの提供により稼働率の向上に努めましたが、格安レンタカーの参入や法人取引先のコスト削減等が大きく影響し、売上高と利益は前年同四半期を下回りました。また、省エネおよび環境対策への取り組みとして、EV（電気自動車）やハイブリッド車等、エコカーの積極的な導入により原価率は上昇しましたが、将来につながる投資を進めることができました。

BMW車、フォード車、ジャガー車、プジョー車の4ブランドの輸入車正規ディーラーを運営するカービジネス事業部門の売上は8,364百万円（前年同四半期比207百万円減収）、セグメント利益は115百万円（前年同四半期比53百万円増益）となりました。

当第2四半期連結累計期間における国内の新車（登録車）販売台数は、エコカー補助金の終了を機に前年実績を下回るなど減少傾向であります。輸入車（登録車）販売台数は157千台と前年同四半期実績（144千台）を上回り堅調に推移しました。輸入車正規ディーラー業務を運営する当社グループでは、BMW車の3シリーズを中心としたニューモデルの積極的な販売強化策の結果、新車売上高は減少したものの、新車販売台数は前年同四半期を上回り、また、中古車販売及び車検・整備の取扱いの増強策も寄与し、セグメント利益は大幅に改善しました。

ビルメンテナンス事業及び不動産賃貸事業を行なう不動産関連事業部門の売上は237百万円（前年同四半期比12百万円増収）、セグメント利益は56百万円（前年同四半期比5百万円増益）となりました。

不動産関連事業部門は、安定した顧客を確保しており、引続き堅調に推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、13,766百万円と前連結会計年度末に比べ408百万円減少しました。これは主として流動資産が273百万円減少したことによるものであります。負債合計は10,183百万円と前連結会計年度末に比べ428百万円減少しました。これは主として流動負債が640百万円減少したことによるものであります。純資産合計は当第2四半期連結累計期間の業績を反映し19百万円増加して3,583百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は0.9ポイント増加して26.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ109百万円減少して1,111百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、527百万円となりました(前年同四半期連結累計期間は753百万円の獲得)。これは主に、税金等調整前四半期純利益が86百万円及び減価償却費311百万円を計上し、売上債権の減少額125百万円、未収入金の減少額が341百万円あった一方、たな卸資産の増加額91百万円、未払金の減少額135百万円及び法人税等の支払額54百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、232百万円となりました(前年同四半期連結累計期間は225百万円の使用)。これは主に、試乗用車両を中心とした有形固定資産の取得による支出が228百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、404百万円となりました(前年同四半期連結累計期間は765百万円の使用)。これは主に、長期借入金の借入による収入が600百万円であった一方、短期借入金の減少が591百万円、長期借入金の返済及び社債の償還による支払が195百万円、リース債務の返済による支出が185百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州諸国の財政危機やアジア経済の成長が鈍化するなど、世界経済は減速の動きが広がり、景気の先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

第2四半期累計期間の業績は、利益面において当初予想との差異が生じましたが、第3四半期は燃料油販売および輸入車販売にとって最大の需要期に当たり、収益の拡大が見込まれることから、通期の業績予想につきましては平成24年6月19日公表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく原価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,357,062	1,247,438
受取手形及び売掛金	2,204,206	2,096,586
商品及び製品	2,155,922	2,375,478
原材料及び貯蔵品	16,831	18,869
繰延税金資産	70,570	78,924
その他	965,283	671,955
貸倒引当金	△37,196	△30,550
流動資産合計	6,732,681	6,458,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,242,818	1,220,428
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産（純額）	719,570	625,195
その他（純額）	418,968	425,157
有形固定資産合計	6,271,445	6,160,869
無形固定資産		
のれん	26,030	15,534
その他	20,261	19,582
無形固定資産合計	46,291	35,116
投資その他の資産		
差入保証金	727,608	707,945
繰延税金資産	22,806	23,551
その他	383,890	390,139
貸倒引当金	△9,407	△9,404
投資その他の資産合計	1,124,896	1,112,231
固定資産合計	7,442,633	7,308,218
資産合計	14,175,315	13,766,921
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,197,443	2,224,042
短期借入金	5,105,872	4,514,000
1年内返済予定の長期借入金	291,020	404,246
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	363,482	337,413
未払法人税等	72,402	43,557
賞与引当金	106,272	109,410
その他	901,873	765,674
流動負債合計	9,068,366	8,428,344

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
固定負債		
社債	90,000	75,000
長期借入金	550,666	856,686
リース債務	400,761	326,927
繰延税金負債	13,890	12,450
退職給付引当金	368,821	368,969
役員退職慰労引当金	97,258	92,824
その他	22,242	22,446
固定負債合計	1,543,641	1,755,304
負債合計	10,612,007	10,183,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,703,752	2,724,813
自己株式	△27,174	△27,174
株主資本合計	3,550,328	3,571,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,964	9,997
その他の包括利益累計額合計	11,964	9,997
新株予約権	1,015	1,885
純資産合計	3,563,307	3,583,272
負債純資産合計	14,175,315	13,766,921

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
売上高	16,723,251	17,428,675
売上原価	13,996,031	14,665,631
売上総利益	2,727,219	2,763,043
販売費及び一般管理費	2,751,504	2,685,563
営業利益又は営業損失(△)	△24,284	77,479
営業外収益		
受取利息	1,546	1,380
受取配当金	864	879
受取手数料	28,227	29,437
違約金収入	—	6,790
その他	12,730	10,565
営業外収益合計	43,369	49,053
営業外費用		
支払利息	43,855	35,103
その他	3,186	2,579
営業外費用合計	47,042	37,682
経常利益又は経常損失(△)	△27,957	88,851
特別利益		
固定資産売却益	1,049	—
特別利益合計	1,049	—
特別損失		
固定資産除却損	15,784	2,725
その他	25	—
特別損失合計	15,809	2,725
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,717	86,126
法人税、住民税及び事業税	26,020	42,733
法人税等調整額	△179	△9,479
法人税等合計	25,840	33,253
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△68,557	52,872
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,557	52,872

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△68,557	52,872
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△5,598	△1,966
その他の包括利益合計	△5,598	△1,966
四半期包括利益	△74,155	50,905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,155	50,905
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,717	86,126
減価償却費	302,744	311,045
のれん償却額	10,496	10,496
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,085	△6,649
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,380	3,138
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18,411	147
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,632	△4,434
受取利息及び受取配当金	△2,411	△2,260
支払利息	43,855	35,103
固定資産売却損益(△は益)	△1,049	—
固定資産除却損	15,784	2,725
売上債権の増減額(△は増加)	88,893	125,955
たな卸資産の増減額(△は増加)	△55,767	△91,556
仕入債務の増減額(△は減少)	490,313	△38,841
未収入金の増減額(△は増加)	△30,849	341,842
未払金の増減額(△は減少)	△31,882	△135,077
その他	90,208	△22,691
小計	872,196	615,068
利息及び配当金の受取額	2,411	2,260
利息の支払額	△44,712	△34,946
法人税等の支払額	△75,960	△54,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	753,935	527,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△3,028	△14
有形固定資産の取得による支出	△228,280	△228,340
有形固定資産の売却による収入	1,050	—
投資有価証券の取得による支出	△585	△500
差入保証金の差入による支出	△1,388	△13,955
差入保証金の回収による収入	20,865	24,707
短期貸付金の増減額(△は増加)	△7,000	△8,750
長期貸付けによる支出	—	△10,000
長期貸付金の回収による収入	9,900	19,650
その他の支出	△16,722	△15,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,190	△232,867

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△372,501	△591,872
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△164,092	△180,754
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△181,656	△185,205
配当金の支払額	△31,811	△31,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	△765,061	△404,643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△236,316	△109,638
現金及び現金同等物の期首残高	1,159,889	1,220,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	923,573	1,111,360

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,261,003	696,002	8,561,125	205,120	16,723,251	—	16,723,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	71,558	20,743	11,305	19,920	123,527	△123,527	—
計	7,332,562	716,746	8,572,430	225,040	16,846,779	△123,527	16,723,251
セグメント利益又は損失(△)	△84,653	14,136	61,706	50,432	41,621	△65,906	△24,284

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△65,906千円には、セグメント間取引消去62,648千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△128,555千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,209,101	659,023	8,342,038	218,512	17,428,675	—	17,428,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80,877	19,892	22,485	18,624	141,879	△141,879	—
計	8,289,979	678,915	8,364,523	237,136	17,570,554	△141,879	17,428,675
セグメント利益又は損失(△)	△36,326	4,864	115,605	56,183	140,326	△62,847	77,479

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△62,847千円には、セグメント間取引消去54,218千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,065千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。